様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　８年　６月　１日

群馬県知事　　殿

提出者　　〒377-0004
住　所　群馬県渋川市半田3225番地

氏　名　ホクブ　株式会社
代表取締役　松島　輝樹

電話番号　0279-22-3323

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ホクブ　株式会社
事業場の所在地	渋川市半田3225番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：建設業　　中分類：総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高　1,016百万円
③従業員数	25人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	旧建築物解体及び建築： がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 紙くず→再生処理業者に委託して再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 石膏ボード→再生処理業者に委託して、再生砕石・再生砂として再資源化 畳・繊維くず→再生処理業者に委託して、新たな固型石油代替燃料にリサイクル ガラス・陶器器くず→再生処理業者に委託して、石膏ボード原料にリサイクル 金属くず→再生処理業者に委託して再資源化 混合物→最終処分業者に委託して埋立処分 土木現場： コンクリート・アスコンがら→再生処理業者に委託して、再生アスコンとして再資源化

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

統括責任者　　（廃棄物処理方針に策定各種事項の決定、承認）

各　部　門　長　　（再生利用業者の調査、選定及び管理,委託契約の締結）

総　務　部　　（産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理）

工事現場管理責任者　　(現場状況管理) →下請会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	1.537 t	0 t

（これまでに実施した取組）
仮設材等再利用できる者を多くし抑制に努める。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排　出　量	40 t	0.2 t

（今後実施する予定の取組）
仮設材等再利用できる者をより多くし一層の抑制に努める。
再生資源化や廃棄物の分別を行い排出量を減らす。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
各作業所において、保管場所を設定し、他の廃棄物が混入しないよう分類・分別・集積している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別、分類の現状維持。
協力業者への指導・協力により分別・分類を厳格に行う。

廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
18.721 t	0.765 t	54.95 t	0.06 t

廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
33 t	0 t	280 t	0 t

金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	
7.91 t	43.618 t	2992.101 t	t
金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	
40 t	9 t	4000 t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　7　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当ありません</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当ありません</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　7　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当ありません</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当ありません</td></tr>
</table>

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
該当ありません

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
該当ありません

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　7　年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	1.537 t	0.04 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
全量再生利用業者に委託した。

t	t	t	t

t	t	t	t

廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
18.721 t	0.765 t	54.95 t	0.06 t
2.601 t	0.135 t	0.9 t	0.06 t
5.611 t	0 t	54.95 t	0.06 t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	
7.91 t	43.618 t	2992.101 t	t
0 t	21.248 t	0 t	t
7.91 t	14.625 t	2992.101 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>40 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>4 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>4 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
全量再生利用業者に委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず
20　t	4　t	250　t	0　t
5　t	1　t	5　t	0　t
20　t	1　t	250　t	0　t
t	t	t	t
t	t	t	t

金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	
10 t	40 t	4000 t	t
1 t	4 t	2000 t	t
10 t	40 t	4000 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。